

バッテリーの話

多機能になった現在の建設機械は電気で動いていると言っても過言ではありません。

今回は、そんな建設機械の電気の源である**バッテリー**の話です。

直接建設機械には関係ありませんが、去年のJAFの故障原因の**ナンバー1がバッテリーのトラブル**です。ちなみに**ナンバー2がバッテリーのトラブル**にもっとも関係のある**発電機(オルタネーター)のトラブル**でした。(ドラバ-のミスを除く)バッテリーは化学変化で放電したり、充電したりします。

その為**気温が下がる冬期に性能低下**をおこし**バッテリートラブル**が発生しやすいのです。

過去の事例にもとずいた注意事項

1. 充電ウォーニングランプの点灯に十分注意してください。点灯していてもしばらくは機械は動きますが、その内操作不能になります。最近のワタールーンでは、全ての機種にコンピューターを搭載しています。バッテリーの電圧降下を起こすとコンピューターが動作不能になり、エンジンがかかっているのにクレーン操作や走行が不能になる事があります。**充電ウォーニングランプが点灯したら、直ぐに国際サービスに連絡してください!**

2. バッテリー交換時又はバッテリーが上がリブースターケーブルでエンジンを始動させようとした時、**端子の接続ミスによるコンピューターの破損**があります。接続の基本として、**+端子と-端子を絶対間違わないでください!**間違えて接続した瞬間、音も無くコンピューターは破損します。

更にバッテリー端子を取り外す時は、**-端子から外し、取付する時は-端子を最後に取付け**してください。誤ると**スパーク**します。バッテリーは化学変化で電気を発生させていますので、バッテリーからは**水素ガスと酸素ガス**が発生しています。点検時及び端子脱着時は**火気厳禁**です。スパークさせたり、ライターの明かりで点検したりすると**非常に危険**です。バッテリー交換時端子の取付け**ボルト・ナットが弛んでいると、スパーク**しますので端子を取付ける際は、しっかりと取付けしてください。

やはり**バッテリー関係のトラブルを未然に防止するには、日常の点検が必要です。**

バッテリーのメンテナンス

1. バッテリー液量の点検

右の写真のように液面表示がなされている場合

アップ-.07-のレベルの間であれば適量です。

又バッテリーキャップを取り外し点検するものは、極板上10mm~15mmあれば適量です。

いずれの場合も不足している場合

蒸留水を補給してください。

バッテリー液は希硫酸です。点検時直接

触ったり、目に入ったら**非常に危険**です。

2. 比重の点検

バッテリーの良し悪しの判断の簡単な方法として比重を測定してください。バッテリーの充電状態が悪くなると、比重が低下します。国際サービスは**バッテリーチェッカー及び比重計**等で点検を行っています。是非ご利用ください。

3. **ファンベルトの点検** VOL4で一部説明しましたが、ファンベルトの切損及び緩み等でも、充電しなくなります。ファンベルトも一緒に点検、調整してください!

バッテリーは消耗品ですので、定期的交換をお奨めします。

自分が乗っている車の、バッテリーの形式をご存知ですか?

バッテリーの形式は通常バッテリーの上部に明記してあります。上の写真では上部に**130F51**と明記してあります。

130 F 51

大まかな長さ (cm)

箱断面積の大きさ
アルファベット順に大きくなる。

容量や始動性を表しています。

数字が大きいほど大きい容量であり

始動性が高性能であるといえます。(130アンペアアワー)

最後にL.Rの表示があれば、端子の位置表示です。

バッテリーを交換する場合、基本的には同等品と交換してください。

ご不明な点、分からない事がありましたら国際サービスにご相談ください。